

9月の活動予定

月	火	水	木	金
		1	2	3
		閉	閉	
6	7	8	9	10
	10~16時	14時~ 16時 リスク勉強会 16時~19時 提言する会	閉	
13	14	15	16	17
	10~16時	10~16時	10~16時	
20	21	22	23	24
敬老の日	閉	閉	秋分の日	
27	28	29	30	
	10~16時	14時~ 16時 リスク勉強会	防災訓練 視察	

予定は変更になる可能性がありますのでご了承ください。

プロジェクトや「提言する会」の活動やニュースレター「しーきゅうぶ」に対するご意見ご要望をお聞かせください。

郵便はがき

100-8787

料金受取人払

東京中央局
承認

4719

差出有効期間
平成17年3月
31日まで

(受取人)
東京都千代田区大手町1-6-1
財団法人電力中央研究所
社会経済研究所内
Cキューブ事務局
担当 土屋智子

ご意見・ご要望

よろしければお名前とご住所をご記入ください

C³プロジェクトでは、リスク情報の発信とコミュニケーションの場として事務局を設けています。ぜひお立ち寄りください。資料の貸し出しも行っています。

C³ (しーきゅうぶ) プロジェクトとは

プロジェクトの正式名称は、「原子力技術リスクC³研究：社会との対話と協働のための社会実験」といいます。平成14年度に経済産業省原子力安全・保安院が新設した提案公募型研究にリスクコミュニケーション分野の第1号として選ばれました。

東海村の皆さんといっしょにリスクを考え、行政や原子力事業者との対話や協働を実現するため、「東海村の環境と原子力安全について提言する会」を設けています。現在のメンバーは16名。住民の視点で事業所の安全対策を確認・提言していく「視察プログラム」を中心に活動しています。

このニュースレターは、皆さんに広く活動を知っていただくために、作成・配布しているものです。役場やコミュニティセンターのほか、駅、合同庁舎、核燃料サイクル開発機構、日本原子力研究所、日本原子力発電株式会社の各見学・交流施設内に置いてあります。

つぶやき・C・C・C

今年は本当に猛暑でした。「昨年でなくてよかった」とほっとしていた電力業界に、関電美浜原子力発電所の事故が大きな衝撃を与えることになりました。「放射線安全以外の所にも十分な安全対策が必要」という「提言する会」の声を東海村内の一部の事業所にしか届けられなかったことが悔やまれてなりません。(土屋智子)



原子力技術リスクC³プロジェクト事務局
〒319-1111 東海村舟石川821-52
東海村合同庁舎(1号館)2階
電話：029-287-1665
携帯：090-4674-0117
ホームページ：http://tokaic3.fc2web.com

しーきゅうぶ



2004年 9月 第13号

原電視察 特集!

「東海村の環境と原子力安全について提言する会」では、6月、7月と日本原子力発電株式会社の安全対策について視察を行いました。視察参加者の感想・意見・提案内容の一部をご紹介します。

原電「東海発電所の廃止措置」の現場を視察 (6月14日)

昭和41年に運転を開始し、平成10年3月31日に運転を停止した東海発電所の廃止措置(解体・撤去工事、放射性廃棄物管理)の状況について視察しました。東海発電所は、日本で最初の商業用原子力発電所であり、イギリスから輸入された原子炉です。天然ウランを燃料とし、黒鉛で中性子を減速させ、炭酸ガスで冷却する日本で唯一の炭酸ガス冷却炉として31年8ヶ月運転を続けてきましたが、発電量に比べて費用がかかるという理由から運転を停止しました。平成13年6月に核燃料はすべて取り出され、第1期の解体工事が進められています。解体撤去工事は、平成29年まで続きます。

(写真は、原子炉サービス建屋内の解体作業現場の様子)



原電「東海第二発電所」の運転状況を視察 (7月26日)



昭和53年に運転を開始した東海第二発電所は、日本で最初の100万キロワット超の大型軽水炉です。沸騰水型軽水炉と呼ばれるものの中では初期の原子炉になります。

運転開始以来順調に運転を継続し、ひとつの原子炉による累積発電電力量1千億kWhを沸騰水型軽水炉として世界で最初に達成しました。

(写真は、中央制御室内で説明を聞いている様子)

